



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社  
 コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 水谷 学  
 (氏名) 佐藤 文昭

TEL 03-5211-2711

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,108	5.6	175	626.2	185	435.0	98	—
29年3月期第1四半期	1,996	9.7	24	—	34	—	△3	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 283百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	14.37	—
29年3月期第1四半期	△0.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	15,949	10,920	67.9	1,579.92
29年3月期	16,517	10,852	65.1	1,568.59

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,824百万円 29年3月期 10,746百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,503	8.4	119	△12.0	135	△14.8	42	△64.8	6.18
通期	9,876	5.5	645	49.3	669	44.4	425	164.4	62.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,700,000 株	29年3月期	7,700,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	848,676 株	29年3月期	848,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,851,324 株	29年3月期1Q	6,851,353 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、全体的に需要の停滞感があるものの、緩やかに改善している状況となりました。5月のフランス大統領選で、中道のエマニュエル・マクロン氏が勝利したことで、右傾化のドミノ倒しへの不安が一掃され、一時NYダウが21,500ドルを超える水準まで上昇しました。為替相場は前期の第4四半期に1ドル109円まで円高が進行したあと6月の終値は112円に戻しており、日経平均は6月終値で2万円台を維持しました。アベノミクスの息切れ感や朝鮮半島情勢の緊張感が高まるなど、足元の不安要素はぬぐえないものの、好調を続ける米経済と持ち直しの期待が高まる欧州の情勢が下支えしているものと思われま

す。情報サービス産業におきましては、AIやIoTなどに積極的な投資で新たなチャンスを掴もうとする傾向が出ており、景況感の改善が感じられます。一方で、新卒・中途採用とも厳しい状態が続いており、人材確保のためにも「働き方改革」が急務となっております。

パソコンの国内出荷台数は2017年度以降、法人需要を中心に回復に向かうとの業界団体の見通しがあるものの、5月の企業向け出荷が低調で、好調とは言えない状況となっております。

当社グループの状況としては、前期後半に発表した新シリーズ「DXシリーズ」の投入効果により、バージョンアップを中心に「製品売上」が前年同期比で堅調な伸びを示しました。更に、「クラウドシフト」政策が継続的に実績をあげており、「クラウド売上」は前年同期比で22.1%の増加となりました。

「PCAクラウド」は、導入実績9,000法人を突破し好調を維持しておりますが、昨年4月よりインターネット上で利用できるアプリケーションを繋ぐサービスである「Web-API」を提供開始したことが奏功し、クラウドtoクラウド連携(他社クラウドサービスとの連携)による新たな需要を獲得できました。更なる拡販を目指し、今後も継続した展開を図ってまいります。

また、経費執行については、現状の売上状況を注視し、一般的経費の削減、執行時期の見直し等、慎重かつ効果的な執行に注力しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高 2,108百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益 175百万円(前年同期比626.2%増)、経常利益 185百万円(前年同期比435.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 98百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 3百万円)となりました。

当社グループは単一セグメントにつき、セグメントごとの記載に代えて、種類別売上高を記載しております。

種類別売上高

種 類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比増減(%)
製 品	371	17.6	10.6
商 品	169	8.0	△8.2
保 守 サ ー ビ ス	783	37.2	1.8
ク ラ ウ ド サ ー ビ ス	424	20.2	22.1
そ の 他 営 業 収 入	359	17.0	0.1
合 計	2,108	100.0	5.6

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における財政状態(連結)の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはございません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって当第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,487	7,093
受取手形及び売掛金	1,557	998
たな卸資産	60	66
繰延税金資産	771	771
その他	480	603
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	10,354	9,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,201	1,190
土地	2,686	2,686
その他(純額)	134	127
有形固定資産合計	4,022	4,004
無形固定資産		
その他	629	709
無形固定資産合計	629	709
投資その他の資産		
その他	1,513	1,707
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,511	1,705
固定資産合計	6,162	6,419
資産合計	16,517	15,949
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	146	116
未払法人税等	374	87
前受収益	1,920	1,913
賞与引当金	221	59
その他	1,160	945
流動負債合計	3,823	3,121
固定負債		
長期前受収益	635	689
役員退職慰労引当金	146	150
退職給付に係る負債	1,000	1,009
資産除去債務	58	58
固定負債合計	1,841	1,908
負債合計	5,664	5,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,919	1,919
利益剰余金	8,732	8,618
自己株式	△1,039	△1,039
株主資本合計	10,503	10,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	435
その他の包括利益累計額合計	243	435
非支配株主持分	105	95
純資産合計	10,852	10,920
負債純資産合計	16,517	15,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,996	2,108
売上原価	943	869
売上総利益	1,053	1,238
販売費及び一般管理費	1,029	1,063
営業利益	24	175
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取賃貸料	5	5
その他	2	2
営業外収益合計	10	10
営業外費用		
その他	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	34	185
税金等調整前四半期純利益	34	185
法人税等	43	94
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	91
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	98

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	191
その他の包括利益合計	10	191
四半期包括利益	1	283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6	289
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△6



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。